

窒素ガス分離装置（C）の 新設について

平成24年12月25日

東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1. 目的

- ① 1～3号機の原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の水素濃度を抑制するため、常用の窒素ガス分離装置の2台並列運転にて窒素を精製・供給している。
- ② 常用の窒素ガス分離装置（容量：100%/台）は、過去に1台運転・1台待機で運用していたが、運転号機トリップにより一時的に窒素供給が停止してしまったことから、2台並列運転での運用としている。
- ③ 現状、2台並列運転であり待機号機が無いことから、長期間のメンテナンス期間の確保が難しく、また、設備の劣化が促進されている。

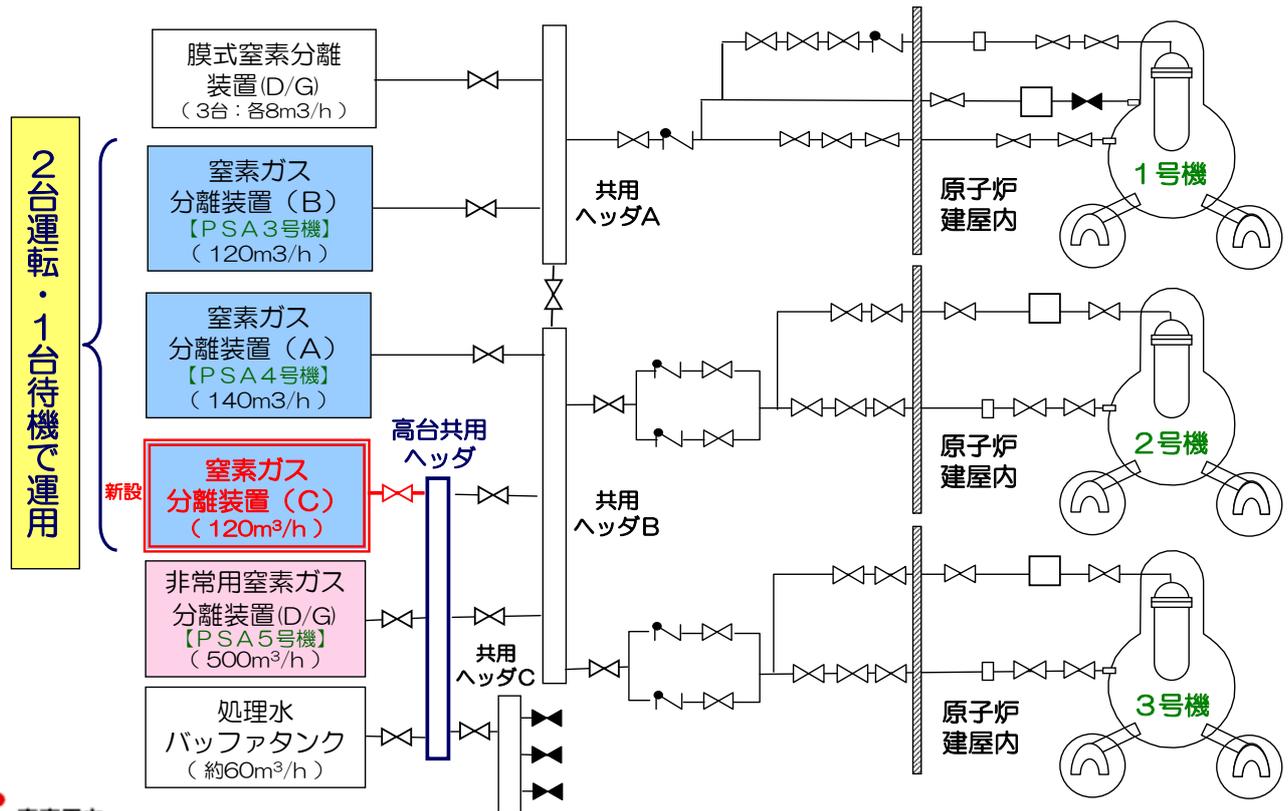


常用の窒素ガス分離装置を更に1台新設し、3台運用（2台運転、1台待機）にすることで、**窒素供給の信頼性を向上する。**



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

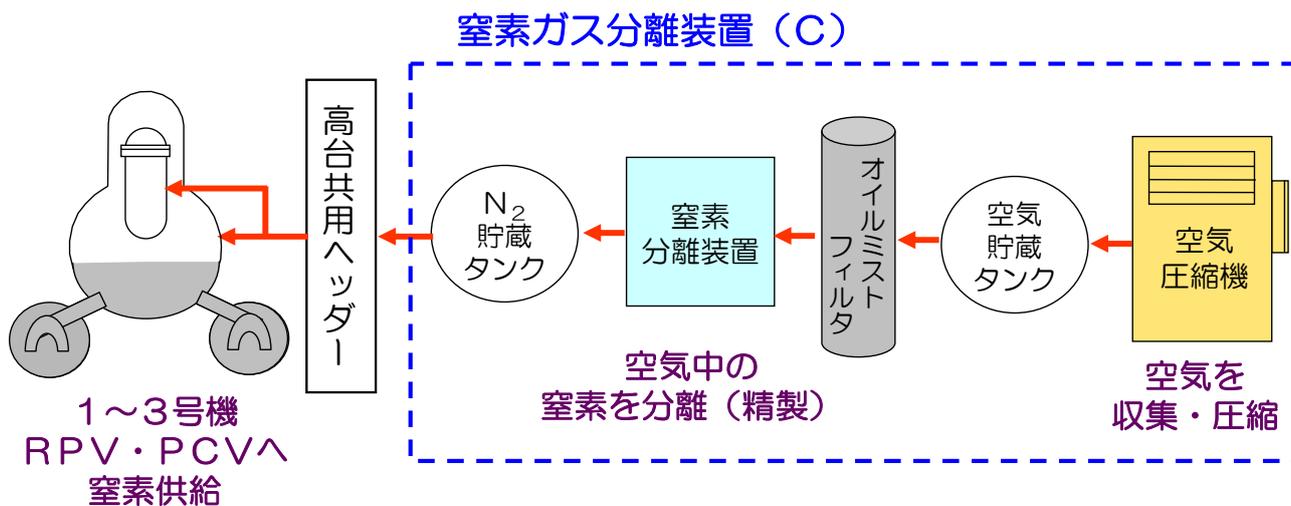
2. 窒素封入設備系統図



3. 工程（案）

	2012年	2013年		
	12月	1月	2月	3月
【窒素ガス分離装置(C)の新設】				
詳細設計				
機器製作、工場試運転			▽入荷	
現場設置、試運転				△運開

【参考1】窒素ガス分離装置（C）構成



（性能）窒素流量：120m³/h，窒素圧力：0.5MPa，窒素濃度：99.9%

【参考2】窒素ガス分離装置 配置図

